

入札公告

物品調達等及び委託役務

次のとおり、条件付一般競争入札を実施するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6の規定により公告する。

この入札公告に定めるもののほか、入札に関して必要な事項は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項による。

平成27年11月20日

東広島市長 藏田 義雄

1 入札に付する事項

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 物品・委託役務の名称 | 平成27年度 道路河川管理システム入力データ作成業務 |
| (2) 物品・委託役務管理番号 | 13-27-0014 |
| (3) 物品・委託役務内容 | 道路河川管理システム（GISシステム）に登載する各種データを申請書等の紙書類から電子化する業務 |
| (4) 納入・履行期間 | 契約締結日の翌日から平成28年3月31日まで |
| (5) 納入・履行(就業)場所 | 東広島市内一円 |
| (6) 予定価格 | 非公表 |
| (7) 最低制限価格 | なし |
| (8) 入札方式 | 一般競争入札 |
| (9) 入札区分 | 紙入札 |
| (10) 契約種別 | 総価契約 |

2 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げる要件を全て満たしていること。

ア 平成25年4月1日～平成28年12月31日までの東広島市物品調達等及び委託役務に係る競争入札参加資格として次の入札参加資格認定区分の認定を受けている者	情報処理＞データ処理
イ 法令等による登録等	問わないものとする。
ウ 技術者	問わないものとする。
エ 営業所等所在地 ※本店とは、法人にあっては登記されている本店とし、個人事業者にあっては営業活動の本拠を置いている場所とする。 ※営業所とは、法人においてその所在する市（町）の法人市（町）民税の申告のある営業所とする。	広島県内に本店を有する者
オ 会社の履行実績	平成25年度から平成27年度までの間において、広島県内の国の機関、広島県又は広島県内の市町が発注した統合型地理情報システムに登載するデータを構築又は改修する業務の履行実績があること。
カ その他	平成26年4月1日付け「東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項」の2（1）のいずれにも該当しないこと。

3 その他の入札条件

- (1) 使用する契約約款は、東広島市の業務委託契約約款（成果物の製造）（東広島市ホームページ掲載）とする。

4 日程等

手 続 き 等	期 間 ・ 期 日 等	場 所 ・ 留 意 事 項
ア 公告日	平成27年11月20日	東広島市ホームページに掲載及び東広島市総務部契約課（契約担当課）で閲覧に供する。 総務部 契約課 物品役務係（契約担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階） 電話番号 082-420-0930 ファックス番号 082-431-0077
イ 仕様書及び見本等閲覧期間	平成27年11月20日～ 平成27年12月11日	東広島市ホームページに掲載及び契約担当課で閲覧に供する。 見本等の有無 : 有
ウ 質問書提出期間	平成27年11月20日～ 平成27年11月30日 (午前8時30分～午後5時15分)	質問書は、本市所定の様式（東広島市物品調達等及び委託役務競争入札心得（平成21年東広島市告示第83号）別記様式第1号（第4条関係））により発注担当課へ持参またはファックスすること。ファックスする場合は、その旨を発注担当課へ事前に電話連絡すること。 建設部 建設管理課（発注担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館6階） 電話番号 082-420-0961 ファックス番号 082-422-1057 質問書提出期間終了後の質問は受け付けない。 質問書の様式は東広島市ホームページからダウンロードできる。
エ 回答書閲覧期間	平成27年12月 3日～ 平成27年12月11日	東広島市ホームページに掲載及び発注担当課で閲覧に供する。
オ 入札期間	平成27年12月 9日～ 平成27年12月10日 (午前8時30分～午後5時15分)	入札場所 東広島市総務部契約課（契約担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階） 入札書は入札期間内に総務部契約課に持参して入札箱に投入すること。 初度の入札書は、入札の権限を有している者が記名押印し、使用印鑑として本市に届け出ている印鑑を押印すること。（ただし、入札書に記載した日付以前に作成された委任状の同封・提出がある場合を除く。）
カ 開札日時	平成27年12月11日 午前11時30分	開札場所 入札室（東広島市西条栄町8番29号 本庁本館4階） 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札がないときは、直ちに開札会場で再度の入札を2回を限度として行う。この場合、開札に立ち会わなかった者、入札に参加しなかった者並びに無効の入札をした者は再度の入札に参加できない。 なお、入札者が立会いできない場合は、委任状の提出により代理人での立会いができる。 委任状の様式は、東広島市ホームページからダウンロードできる。
キ 事後審査	開札後、落札を保留し、落札候補者となったものについて入札参加資格要件を審査する。	入札に参加する者に必要な資格を確認するために必要な資料（以下「資格要件確認資料」という。）の提出を求める。

5 資格要件確認資料の提出

落札候補者となった者は、資格要件確認資料を持参により提出しなければならない。
なお、資格要件確認資料に虚偽の記載をした者に対しては、指名除外措置を行うことがある。

(1) 提出書類

ア 入札参加資格確認申請書	申請書の様式は、東広島市ホームページからダウンロードできる。
イ 誓約書	誓約書の様式は、東広島市ホームページからダウンロードできる。
ウ 会社の履行実績を確認するための資料	履行実績確認表及び発注者の履行実績証明書 ただし、東広島市の実績の場合、履行実績証明書は不要とする。 履行実績確認表及び履行実績証明書の様式は、東広島市ホームページからダウンロードできる。

(2) 提出部数は、1部とする。

なお、提出した資格要件確認資料は、返却しない。

(3) 提出期限

平成27年12月14日午後5時15分

(4) 提出先

東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階）
総務部契約課物品役務係

(5) その他

入札参加者は、資格要件確認資料を指定された提出期限までに提出できるよう事前に準備しておくこと。
資格要件確認資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とする。

6 問い合わせ先（契約担当課）

総務部契約課 物品役務係
東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階）
電話番号 082-420-0930
ファックス番号 082-431-0077

平成 27 年度 道路河川管理システム入力データ作成業務仕様書

第 1 章 総 則

第 1 条 (目 的)

平成 27 年度道路河川管理システム入力データ作成業務委託（以下『本業務』という。）は、平成 12 年度道路河川管理システム（以下『本システム』という。）構築に基づき、各種申請書・図面・写真・帳票類等の資料を画像データ化、若しくは数値、文字情報化することによりパソコン上で一括管理し、維持管理業務の正確化及び合理化を目的とするものである。

第 2 条 (準拠法令)

本業務を実施するにあたり、この仕様書によるほか、次に掲げる法令並びに規定等に基づき実施するものとする。

- (1) 測量法（昭和 24 年法律第 188 号）
- (2) 国土調査法（昭和 26 年法律第 180 号）
- (3) 東広島市公共測量業務作業規定（平成 8 年建設省国発第 581 号）
- (4) 東広島市契約規則
- (5) その他関係法令

第 3 条 (提出書類)

本業務着手に先立ち受注者は、契約締結後に下記の書類を提出し、東広島市（以下「発注者」という）の承認を得なければならない。

- (1) 業務実施計画書（工程表を含む）
- (2) 委託業務実施責任者

第 4 条 (疑 義)

本仕様書に記載のない事項及び疑義を生じた場合は、発注者と受注者の協議の上、定めるものとする。

第 5 条 (納期)

本業務の納期については、下記の通りとする。

平成 28 年 3 月 31 日

第2章 業務概要

第6条（業務範囲）

業務範囲は、東広島市内一円とする。

第7条（業務概要）

本業務の内容は次のとおりとする。

1. 入力データ作成を行う業務

- (1) 道路占用許可申請
- (2) 道路工事施行承認申請（以下『道路工事申請』という。）
- (3) 普通河川等土木工事許可申請（以下『普通河川申請』という。）
- (4) 河川占用許可申請
- (5) 境界確認申請
- (6) 公用廃止申請
- (7) ため池占用許可申請

※ 以下(1)～(7)の作成データを、「業務データ」という。

2. 構築データ項目概要

1申請当りの構築しなければならないデータは、概ね以下の通りであるが、詳細は「道路河川管理システム入力データ作成用定義書」（以下「定義書」という）の項目内容を優先する。なお、「図形」「文字データ」「各図形文字データ」の定義は以下のとおり。

- ・図形…地図上に位置を示すデータ。公共座標上での位置を登録して管理するためのデータ。第一種電柱、共架電線、マンホール等があり、それぞれに受付番号、数量、条数、規格等の属性がある。図形の種類は、各申請書の申請内容から読み取る。
- ・文字データ…図形を選択すると表示され、検索に使用することができるもの。上記1(1)～(7)の申請に係る申請書の記載項目が該当し、受付年月日、申請者氏名、電話番号等がある。
- ・各図形文字データ…すべての図形に受付番号等の属性を持たせ、同一の申請案件内の図形を一部属性により関連付ける（横串をさす）ことにより、1申請に複数の図形がある場合においても、いずれかの図形の選択によって当該申請案件内の内容及び領域が表示されるようにしたもの。

(1) 道路占用許可申請

- ・図形 … 1申請に数カ所～数十箇所
- ・文字データ … 受付年度，受付番号，受付年月日，受付者郵便番号，申請者住所，申請者氏名，連絡先，電話番号，申請地，許可満了日，目的，着手届，完了届，占用月数，占用料，適用基準，レコード区分，箱番号，保存場所
- ・各図形文字データ … 受付番号，受付年度，管理番号，占用物，甲乙，認定，添加，数量，条数，補正係数，埋設深，路線番号，備考
- ・ファイリング … 申請書類，添付図面 等をスキャナにてラスト保存

(2) 道路工事施工承認申請

- ・図形 … 1申請に数カ所
- ・文字データ … 受付年度，受付番号，受付年月日，申請者住所，申請者氏名，連絡先，電話番号，申請地，工事期間開始，工事期間終了，目的，許可年月日，着手届，完了届，箱番号，保存場所，備考
- ・ファイリング … 申請書類，添付図面 等をスキャナにてラスト保存

(3) 普通河川等土木工事許可申請

- ・図形 … 1申請に数カ所
- ・文字データ … 受付年度，受付番号，受付年月日，申請者住所，申請者氏名，連絡先，電話番号，申請地，工事期間開始，工事期間終了，目的，許可年月日，着手届，完了届，箱番号，保存場所，備考
- ・ファイリング … 申請書類，添付図面 等をスキャナにてラスト保存

(4) 河川占用許可申請

- ・図形 … 道路占用許可申請に準ずる
- ・文字データ … 道路占用許可申請に準ずる
- ・ファイリング … 道路占用許可申請に準ずる

(5) 境界確認申請

- ・図形 … 1申請に1筆～10数筆の官民境界を入力
- ・文字データ … 受付年度，受付番号，受付年月日，申請者住所，申請者氏名，連絡先，電話番号，申請場所，目的，協定年月日，箱番号，保存場所
- ・ファイリング … 申請書類，添付図面 等をスキャナにてラスト保存

(6) 公用廃止申請

- ・図形 … 1申請に数カ所
- ・文字データ … 申請年月日, 申請者住所, 申請者氏名, 連絡先 等最大 10 項目程度。項目は発注者と受注者の協議により決定する。
- ・ファイリング … 申請書類等をスキャナにてラスタ保存

(7) ため池占用許可申請

- ・図形 … 道路占用許可申請に準ずる
- ・文字データ … 道路占用許可申請に準ずる
- ・ファイリング … 道路占用許可申請に準ずる

※(1)～(7)の申請様式については別途見本のとおりに。

3. データの論理チェック

- ・ 各種作成したデータのキー項目抽出によるマッチングチェック

第8条 (資料の貸与及び返却)

本業務に必要と認められる資料については発注者から受注者に貸与するものとする。

- (1) 受付一覧表コピー…………… 1式
- (2) 道路占用許可申請図書…………… 1式
- (3) 道路工事申請図書…………… 1式
- (4) 普通河川申請図書…………… 1式
- (5) 河川占用許可申請図書…………… 1式
- (6) 境界確認申請図書…………… 1式
- (7) 公用廃止申請図書…………… 1式
- (8) ため池占用許可申請図書…………… 1式
- (9) 東広島市地形図 (1/2, 500) デジタルマッピングデータ…………… 1式
- (10) 東広島市地番図SHPデータ及び必要属性データ…………… 1式

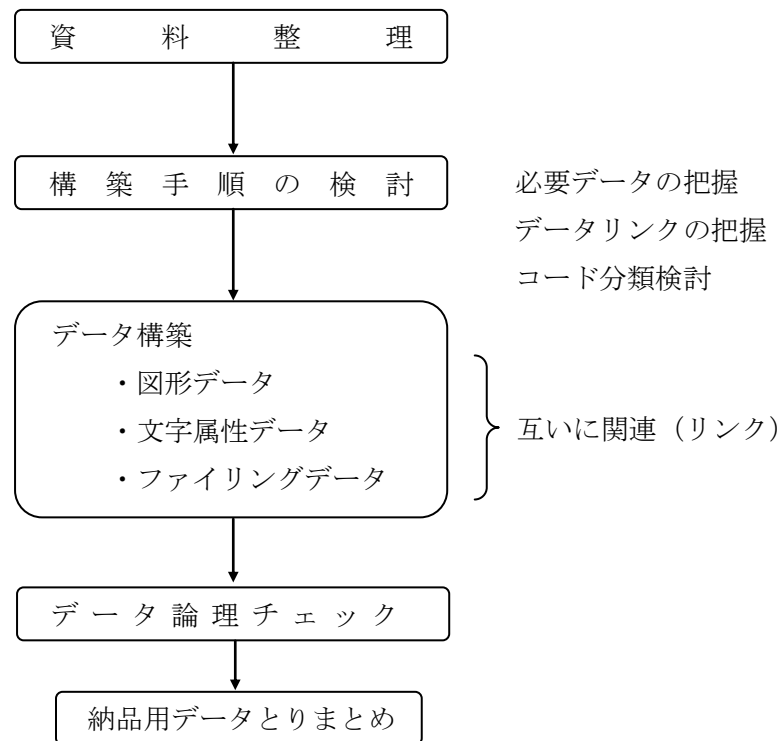
(11)道路河川管理システムデータ作成用定義書…………… 1式

(12)その他必要な資料…………… 1式

1. 受注者は、貸与された資料について責任を持って取り扱うとともに汚損のないよう十分注意し、作業終了後直ちに返却しなければならない。
2. サーバーに入っているデータが必要な場合、受注者は発注者の監視のもとで必要なデータをコピーすることを認めるが、システムを止めることのないように行うこと。システムの貸与は行わない。
3. 受注者は、貸与資料データについて、作業上ハードデスク等に複製データを作成する必要がある場合は、事前に発注者の許可を得るとともに全ての作業が完了した時点で全ての複製データを消去するものとする。

第3章 データ構築

第9条 (業務データ整備フロー)



第10条（計画準備）

資料収集から本システムへのデータインストールまでがスムーズに行えるよう、全体をとらえ総合的に計画すること。

第11条（資料整理）

- (1) 発注者より貸与された資料を基に、データ構築する各業務の資料を整理し、受付番号一覧表と対になる必要な資料が整っているかをチェックするものとする。
- (2) 次条で行う構築データの種類と、データの関連を把握し構築手順を決定すること。

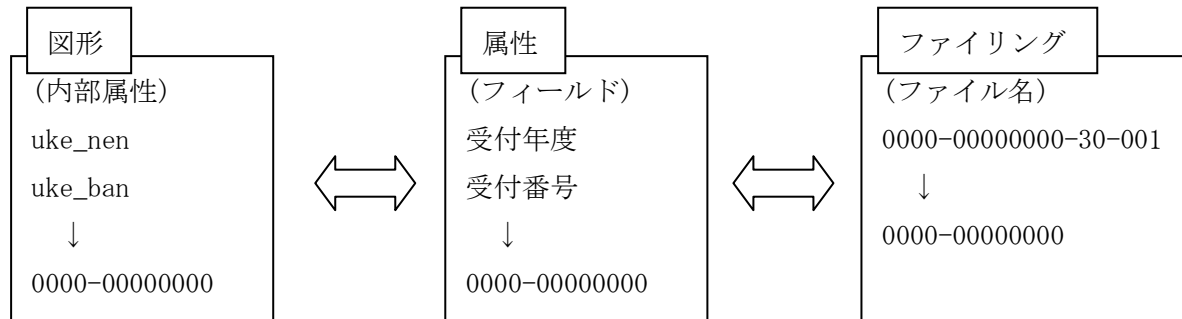
第12条（業務データの構成）

- (1) リンクイメージ

「定義書」におけるキーになる部分を押さえて業務を行うこと。下記は「定義書」を一部抜粋したものである。

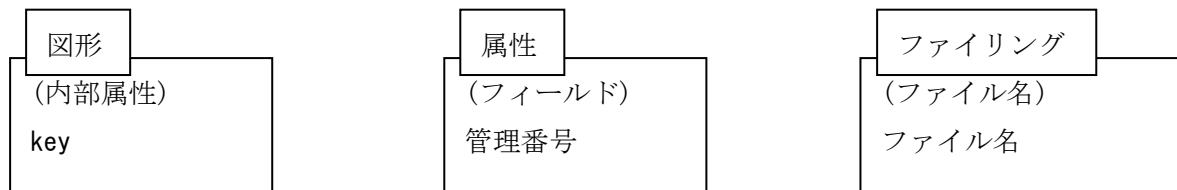
【受付年度+受付番号の場合】

受付年度(4桁)
受付番号(8桁) → 「0000-00000000」 マッチングキー



各データ、受付年度と受付番号に当たるデータ項目が存在する。

【管理番号の場合】





各データ、キーに当たるデータ項目がそのまま存在する。

第 13 条（業務データの種類）

各業務毎に構築するデータは異なるが、大きく分類すると以下の通りとし、受付番号を基に各種データが関連し合うこと。

○ 図形

- ・ メイン属性 1 件につき、必要な図形をベクトルで入力。
- ・ 1 メイン属性に対する図形は、1 図形とは限らない。
- ・ 業務に応じて、ポイント(点)、ライン(線)、ポリゴン(面)の中からも必要なものを選択入力。

○ 文字属性

- ・ メイン属性は、受付番号一覧表の内容をデータベース化。
- ・ ファイリング用のテーブル。
- ・ 図形リンク用のテーブル(占有物件固有の属性含)。
- ・ 各種コード用テーブル。

○ ファイリング

- ・ 申請書及び添付資料を保存する実データ。(モノクロ、カラー)

第 14 条（業務データ形式）

- ・ 「定義書」に則ってデータを作成すること。概略は以下のとおりである。

○ 図形

- ・ 納品用記録形式は Informatix 社の SIS Ver6.0 BDS 形式、または Esri 社の SHP 形式。

○ 文字属性

- ・ Access2000 形式。詳細は「定義書」による。
- ・ 仕様書と実際のシステム構成が異なる場合、または存在しない場合、現稼働中の実データを基にすること。

○ ファイリング

- ・ モノクロ TIFF 圧縮形式
解像度 300dpi 以上
- ・ カラー JPEG 圧縮形式 圧縮率は画像の劣化が画面で直ぐ判らない程度とする。(Adobe 社 PhotoShope の標準の圧縮を基準)
解像度 150dpi 以上
- ・ 最終的には Adobe Systems 社製の PDF 形式に格納して納めるものとする。
- ・ 銘々規則が決められているので気を付けること。

第 15 条 (図形データ入力用背景図)

境界確認申請は SHP 形式で提供される地番図データを使用し、公用廃止申請は法定外のデータを使用する。その他の入力用背景図は東広島市地形図 (S=1/2, 500) の DM データを展開して使用すること。貸与するデータはいずれも世界測地系とする。

第 16 条 (データのリンク)

- ・ 「定義書」のデータリンクキーを十分理解した上で業務を行うこと。
- ・ 構築する各種データはシステム上で互いに関連し、相互の検索ができるよう構築しなければならない。
- ・ ファイリング銘々規則やリンクキーは、「定義書」を基に構築するが、稼働中システムのデータの構造・構成を優先し統一すること。

第 17 条 (データ整合チェック)

- ・ 作成されたデータは、システムでの動作に問題がないか、データの論理チェックを行うこと。
- ・ 過不足が生じる場合の理由を明確にすること

第 4 章 納入成果品

第 18 条 (納入品内訳)

- ・ 納入成果品については、下記のとおりとする。
 - (1) 構築データ 1 式
 - (2) 構築データ一覧表 1 式
 - (3) その他必要な物 1 式

第 5 章 検査・その他

第 19 条 (検査)

本業務の実施途中において必要に応じ中間検査を行う。検査結果、不正又は本仕様書に反すると認められる場合は、受注者において速やかに訂正し再検査を受けること。

第20条（その他）

本契約の入札に参加しようとする者は、実機による本システムの稼働画面を閲覧することができる。閲覧を希望する者は、発注担当課に事前に申し出た上で認められた時間帯において閲覧するものとする。ただし、閲覧できるのは平成27年11月30日までとする。また、閲覧時の口頭による質疑応答は認めないため、質問がある場合は入札公告に定めるところにより、所定の期日までに質問書を提出すること。（質問書提出期限：平成27年11月30日）

道路河川管理システム入力データ作成業務委託

数量明細書

委託業務費		数量	単位	単価	金額	備考
	直接業務費					
	打ち合わせ協議	1	式			
	打ち合わせ協議①(業務着手時)	1	回			
	打ち合わせ協議②(中間打ち合わせ)	1	回			
	打ち合わせ協議③(成果品納入時)	1	回			
	道路占用申請入力データ作成	1	式			
	計画準備	1	式			
	資料収集整理	165	件			
	図形データ作成					
	属性データ作成					
	ファイリングデータ作成					
	電算チェック及び修正					
	河川占用申請入力データ作成	1	式			
	計画準備	1	式			
	資料収集整理	88	件			
	図形データ作成					
	属性データ作成					
	ファイリングデータ作成					
	電算チェック及び修正					
	道路工事施工承認申請入力データ作成	1	式			
	計画準備	1	式			
	資料収集整理	213	件			
	図形データ作成					
	属性データ作成					
	ファイリングデータ作成					
	電算チェック及び修正					
	普通河川土木工事許可申請入力データ作成	1	式			
	計画準備	1	式			
	資料収集整理	50	件			
	図形データ作成					
	属性データ作成					
	ファイリングデータ作成					
	電算チェック及び修正					
	境界確認申請入力データ作成	1	式			

		計画準備	1	式			
		資料収集整理	462	件			
		図形データ作成					
		属性データ作成					
		ファイリングデータ作成					
		電算チェック及び修正					
		公用廃止申請入力データ	1	式			
		計画準備	1	式			
		資料収集整理	16	件			
		図形データ作成					
		属性データ作成					
		ファイリングデータ作成					
		電算チェック及び修正					
		ため池占用申請入力データ作成	1	式			
		計画準備	1	式			
		資料収集整理	2	件			
		図形データ作成					
		属性データ作成					
		ファイリングデータ作成					
		電算チェック及び修正					
	直接業務費(計)						
諸経費							
業務価格							
消費税相当額							
委託業務費							

道路河川管理システム
入力データ作成用定義書

Ver.平成 27 年 10 月

東広島市 建設部 建設管理課

【定義書の構成内容】

1. 共通事項

- ◆ 総則
- ◆ 目的
- ◆ データの大分類
- ◆ 業務の種類
- ◆ データの保存単位
- ◆ データのリンク概要
- ◆ マッチングチェック
- ◆ 既存データとの差異

2. 図形データ

- ◆ 図形データ全体表及び各業務のキー項目
- ◆ 地物要件定義書

3. 属性データ

- ◆ 各業務属性表
- ◆ コード管理されている項目のコード表

4. ファイリングデータ

- ◆ ファイリングデータ銘々規則
- ◆ スキャン時の注意事項

1. 共通事項

◆ 総則

仕様書名：台帳附図作成用定義書

作成Ver：2012/11/1

作成者：東広島市建設管理課

基準座標系：平面直角座標 世界測地系(JGD2000) 第Ⅲ系

空間範囲：東広島市全域

引用規格・関係法令：国土交通省公共測量作業規定(平成14年) [東広島市公共測量作業規定]
道路法(昭和27年法律第180号)

適用：ここではデータ定義を行うものであり、記載以外は、発注時の特記仕様書に準ずる

◆ 目的

道路河川管理システムでは、境界確認申請や道路占用等の業務が管理されており、これらのデータは、毎年業務委託にて作成され、登録を行っている。データは、①地図上に位置を示すデータ②検索に使用する文字データベース③申請書等の書類をファイリングした画像データ、の大きく3種類で構成され、これらがシステム上で互いに連携し、情報が引き出せるようにする必要がある。従って、連携するためのキーを認識することはもとより、毎年統一的なデータが作成されるよう、データ作成の定義をおこなうものである。

◆ データの大分類

取り扱うデータは大きく分けて、「図形データ」「属性データ」「ファイリングデータ」に分けられる。これらのデータを「業務」毎に互いに関係するキー属性を介して集合体で作成される。各データで扱う形式や注意事項は以下のとおりである。

・ 図形データ

公共座標上での位置を登録して管理するためのデータを総称して「図形データ」という。ここでは、Informatix社製のBDS形式、またはEsri社のSHP形式を使用する。SHP形式は構造上DBFのデータベースファイルを扱うが、下記属性データのデータベースとは異なり、ここでは図形データの一部として取り扱うことにする。図形に付属する属性データを「内部属性」ということにする。

・ 属性データ

図形データと対になるデータベースのことを総称して「属性データ」という。ここでは、Microsoft社のAccessを使用する。

・ ファイリングデータ

Microsoft社のWindowsOS上で動作するソフトの様々なデータファイルを総称して「ファイリングデータ」という。ここでは主に、Adobe社のPDF形式、Microsoft社のXLS形式をデータ作成フォーマットとして取り扱う。

・ 業務

データの集合単位として「業務」ということにする。Microsoft社のWindowsOS上で動作するソフトの様々なデータファイルを総称して「ファイリングデータ」という。ここでは主に、Adobe社のPDF形式、Microsoft社のXLS形式をデータ作成フォーマットとして取り扱う。

◆ 業務の種類

ここで扱う業務の種類は以下のとおりである。正式名称と略称をここで定義する。

業務名称	略 称
境界確認申請	境界確認
道路工事施工承認申請	道路工事
普通河川等土木工事許可申請	普通河川
道路及び河川占用許可申請	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総称の場合 占用 ・ 区別の場合 道路占用 河川占用
公用廃止申請	公用廃止
街路灯台帳	街路灯
カーブミラー台帳	カーブミラー

◆ データの保存単位

データの保存単位や名称の付け方は、以下の通りとする。基本的に「業務の種類」を利用して分類することとなっている。

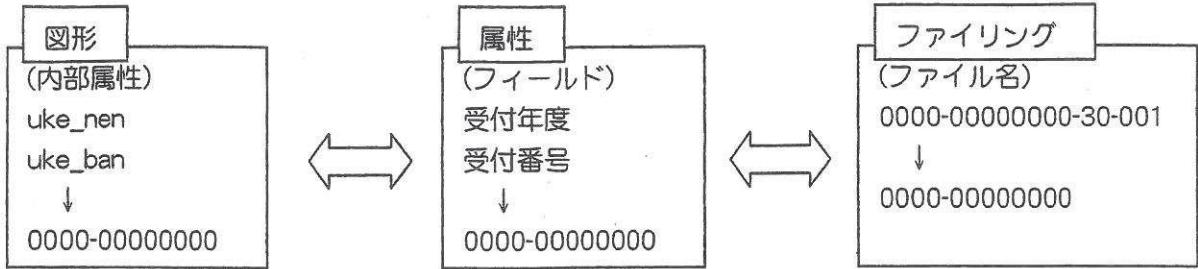
データ大分類	データ形式	保存単位	名称の付け方
図形データ	BDS または SHP	BDS の場合は業務毎に 1 ファイル作成。 SHP の場合は業務毎にプラスして、点・線・面を分離作成する。	業務の種類「略称」をファイル名で使用。 SHP の場合は「略書」の後ろに点・線・面が解る名称を任意に付加する
属性データ	MDB	MDB ファイルは 1 ファイルとする。 業務毎にテーブル分けして作成。	業務の種類「略称」をデータベーステーブル名として使用する。
ファイリングデータ	PDF XLS	業務毎にフォルダ分けを行い、ファイリングデータを格納する。ファイル銘々規則は別途記述有り。	業務毎に作成するフォルダは、業務の種類「略称」を使用する。

◆ データのリンク概要

「図形データ」「属性データ」「ファイリングデータ」は、互いにキーを介して連携する。キーは「受付年度+受付番号」を使用する許認可関係のもの、「管理番号」を使用する台帳関係に大きく2分される。以下に2パターンに分けて説明する。

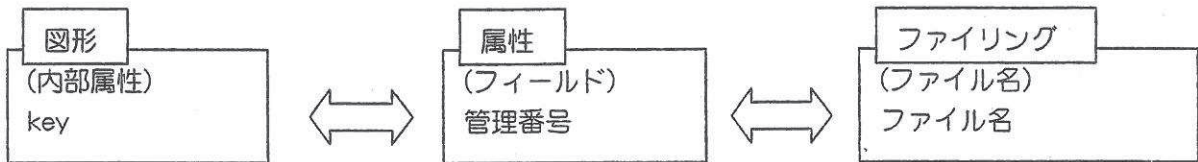
【受付年度+受付番号の場合】

受付年度(4桁)
 受付番号(8桁) → 「0000-00000000」 マatchingキー



各データ、受付年度と受付番号に当たるデータ項目が存在する。

【管理番号の場合】



各データ、キーに当たるデータ項目がそのまま存在する。

※ キーに関しては各所で説明が書かれているので注意する。

属性の受付年度は「長整数型」で図形内部属性の「uke_ban」のテキスト型とは異なるがMatchingチェックの場合は型変換して対応すること。

◆ マatchingチェック

基本的に「図形データ」「属性データ」「ファイリングデータ」は、過不足無く連携するはずである。(占有は譲渡等の関係から図形が無い場合あり) 作成されたデータは必ずMatchingキーを作成し電算上でのチェックを行うものとする。Matching結果は特に様式は問わないが、EXCELデータにて同梱すること。アンマッチが無くても、無かったことを記録しておくこと。下記に例を示す。

Matching不具合が無かった場合

境界_図形⇒境界_属性	OK
境界_属性⇒境界_図形	OK
境界_属性⇒境界_ファイル	OK
境界_ファイル⇒境界_属性	OK

Matching不具合があって理由がある場合

占有_図形⇒占有_属性	OK
占有_属性⇒占有_図形	2011-00000100 譲渡
	2011-00001200 譲渡
	...

◆ 既存データとの差異

参考の為に過去のデータ(図形と属性)を提供するが、毎年少しずつ内容も変化しており、本定義書と異なる場合もあるので、疑問点は必ず発注者へ問い合わせを行い、指示を仰ぐこと。

2. 図形データ

図形データは、全体把握用の表と、各業務毎に作成した地物要件定義書から構成されている。

- ◆ 図形データ全体表及び各業務のキー項目

- ◆ 地物要件定義書

※ 占用は別途「道路(河川)占用物図形属性」にて内部属性を説明。

◆ 図形データ全体表及び各業務のキー項目

業務名称	略称	背景図	データ形式	基準縮尺	線巾(基準縮尺上)	点大(基準縮尺上)	図形種類	入力方法	キー項目(内部属性)	キー書式	備考
境界確認申請	境界確認	地番図	bds, shp	1000	0.25	0.4	点・線	該当箇所の基準図形上をカッパして作成。	uke_nen\$ uke_ban\$	②	
道路工事施工承認申請	道路工事	2500都市計画図	bds, shp	1000	0.25	0.4	点・線・面	①	uke_nen\$ uke_ban\$	②	
普通河川等土木工事許可申請	普通河川	2500都市計画図	bds, shp	1000	0.25	0.4	点・線・面	①	uke_nen\$ uke_ban\$	②	
道路及び河川占用許可申請	・総称の場合 占用 ・区別の場合 道路占用 河川占用	2500都市計画図	bds, shp	1000	0.1	0.4	点・線・面	①	uke_nen\$ uke_ban\$	②	図形の属性として多くの入力項目有り。別途詳しい資料「道路(河川)占用物図形属性」で説明。
公用廃止申請	公用廃止	地番図及び法定外公共物	bds, shp	1000	0.4	—	一面	廃止箇所を面で囲む。基準になつた図形は頂点上はカッパする。	uke_nen\$ uke_ban\$	②	
2500都市計画図上に、資料から	街路灯	2500都市計画図	bds, shp	2500	—	0.4	点	①	key\$	②	
カーブミラー台帳	カーブミラー	2500都市計画図	bds, shp	2500	—	0.4	点	①	key\$	②	

※ 地物要件定義書も同様のこと書かれているが、参照のこと。

\$:文字
&:整数
#:実数

※ 接尾文字は型式を表示
実際の内部属性名としては不要

① 過去データと重なる場合は、転移して平行入力とする。
平行入力時の転移は、線の中央を基準として線の1.5倍(線の半分の空白)転移する。(図上0.4mmの場合0.6mmの平行線)
これは基準であり、見た目上被る場合は、目視で離してもよいものとする。

② キー項目

◇ パターン1: 年度+受付番号
(許認可関係)

uke_nen\$
uke_ban\$

受付年度のこと。全て半角。西暦4桁。
受付番号のこと。全て半角。頭0埋め8桁。銘々規則は別途指示あり(「77777777」銘々規則参照)。

◇ パターン2: 管理番号
(台帳関係)

key\$

ユニークな管理番号。基本固定長で作成。
街路灯: 全て半角。地区名がカッパ1桁+パワ7桁+0埋め5桁の地区内連番
カーブミラー: 全て半角。地区名がカッパ1桁+パワ7桁+0埋め4桁の地区内連番

【その他注意事項】

・ データ形式はBDSを標準とするが、SHPでもよいものとする。その場合、キー項目の「\$」等の記号は不要。
・ ここに出てこない業務のキーについては、上記パターンに削って決定するものとする。

地物名称	普通河川等土木工事許可申請
地物領域	市全域
データ形式	BDS,SHP
データ単位	東広島市全域
ファイル名	普通河川 (SHPの場合は後ろに識別できる名称を付加 例:ポイント→「P」, ライン→「L」等)
基準縮尺	2500
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索, 表示で使用。
取得基準	2500都市計画図上に、資料から相対的位置を移写してプロット。過去データと重なる場合は転移して作成する。転移については、「図形データ全体表及び各業務のキー項目」参照。

空間情報

名称	内容	データ型
申請位置	申請位置の状況に合わせてデータ型を決定	ポイント・ライン・エリア

属性情報

名称	内容	データ型	内部属性名	様式
受付年度		テキスト	uke_nen	西暦で4桁半角数字
受付番号		テキスト	uke_ban	0埋め8桁英数半角 銘々規則は別途指示有

その他

--

地物名称	道路及び河川占用許可申請
地物領域	市全域
データ形式	BDS,SHP
データ単位	東広島市全域
ファイル名	占用（SHPの場合は後ろに識別できる名称を付加 例:ポイント→「P」、ライン→「L」等）
基準縮尺	1000
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索、表示で使用。
取得基準	2500都市計画図上に、資料から相対的位置を移写してプロット。過去データと重なる場合は転移して作成する。転移については、「図形データ全体表及び各業務のキー項目」参照。

空間情報

名称	内容	データ型
申請位置	占用物の状況に合わせてデータ型を決定	ポイント・ライン・エリア

属性情報

名称	内容	データ型	内部属性名	様式
受付年度		テキスト	uke_nen	西暦で4桁半角数字
受付番号		テキスト	uke_ban	0埋め8桁英数半角 銘々規則は別途指示有
以下属性定義項目が多いので、次ページに属性情報の詳細を記述。				

その他

--

地物名称	道路工事施工承認申請			
地物領域	市全域			
データ形式	BDS,SHP			
データ単位	東広島市全域			
ファイル名	道路工事 (SHPの場合は後ろに識別できる名称を付加 例:ポイント→「P」, ライン→「L」等)			
基準縮尺	2500			
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索, 表示で使用。			
取得基準	2500都市計画図上に、資料から相対的位置を移写してプロット。過去データと重なる場合は転移して作成する。転移については、「図形データ全体表及び各業務のキー項目」参照。			
空間情報				
名称	内容	データ型		
申請位置	申請位置の状況に合わせてデータ型を決定	ポイント・ライン・エリア		
属性情報				
名称	内容	データ型	内部属性名	様式
受付年度		テキスト	uke_nen	西暦で4桁半角数字
受付番号		テキスト	uke_ban	0埋め8桁英数半角 銘々規則は別途指示有
その他				

地物名称	境界確認申請			
地物領域	市全域			
データ形式	BDS,SHP			
データ単位	東広島市全域			
ファイル名	境界確認 (SHPの場合は後ろに識別できる名称を付加 例:ポイント→「P」、ライン→「L」等)			
基準縮尺	1000			
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索、表示で使用。			
取得基準	2500都市計画図上に、資料から相対的位置を移写してプロット。過去データと重なる場合は転移して作成する。転移については、「図形データ全体表及び各業務のキー項目」参照。			
空間情報				
名称	内容	データ型		
境界確認箇所		ライン		
境界点	ほとんどの場合ラインであるが、希に存在	ポイント		
属性情報				
名称	内容	データ型	内部属性名	様式
受付年度		テキスト	uke_nen	西暦で4桁半角数字
受付番号		テキスト	uke_ban	0埋め8桁英数半角 銘々規則は別途指示有
その他				

道路(河川)占用物図形属性

2012/11/01版

名称(別名)	内部属性名	データ型	サイズ	入力要領	コード表その他
受付年度	uke_ban	長整数型	4	受付された年度(受付年月日の年度)。1~3月は注意!	
受付番号	uke_ban	テキスト型	8	受付番号の銘々規則に則って作成	
業務ID		長整数型	-	システムで使用するID。入力不要 データ項目も不要	
業務ID(新)		長整数型	-	システムで使用するID。入力不要 データ項目も不要	
管理番号	KANRI_NO	テキスト型	120	電柱番号や施工番号等占用物固有の管理できる番号を記入。従って占用物毎に細分化して図形を分ける必要がある。	
占用物	KIND	テキスト型	8	別途コード表による	[B_11_道路占用占用物コード]
甲乙区分	KOU_OUT	テキスト型	2	甲区:01, 乙区:02 甲乙は占用料金から逆計算と占用物の位置から導き出す方法がある。	[B_11_道路占用甲乙コード]
認定区分	NINTEI	テキスト型	2	不認定:00, 認定道路:01	[B_11_道路占用認定コード]
添加物有無	TENKA	テキスト型	2	無:00, 有:01	[B_11_道路占用添加物コード]
数量	COUNT	倍精度浮動小数点型	-	下2桁 マンホール, 電柱等:図形1点>1 地下埋設管:図形線入力>延長(m) 面的占用物>面積(m ²)	
条数	iyousuu	長整数型	-	地下埋設(特に光ケーブル)で上記数量が複数存在し料金計算に反映する必要がある場合にその本数を記入。複数無い場合は「1」を記入 点入力物は基本的に1占用1図形となるので「1」を入力。	
補正係数	HOSEI	倍精度浮動小数点型	-	占用物の免除や減額措置を行う補正係数を入力。 通常:1, 免除:0, 減額:減額率(50%の場合0.5)	
埋設深	H	倍精度浮動小数点型	-	地下埋設物の場合、路面位置から地下埋設最上部までの各図形の平均の深さをメートル単位で小数2位を四捨五入し1位までを記入。	
路線番号	ROSEN_NO	テキスト型	8	認定路線番号記入 網図のデータよりクリップボードを通じて入力。申請書の内容と合っているかも確認。 不認定道の場合は「90000000」記入	
存地	ZONTI	テキスト型	1	廃止申請の場合に「存地」であれば「1」を記述。基本ここに1が立つことはほぼ無いと思われる。 判断が難しいが、普段と違う状態を見逃さない様にするしかない。	[B_11_道路占用存地コード]

地物名称	公用廃止申請
地物領域	市全域
データ形式	BDS,SHP
データ単位	東広島市全域
ファイル名	公用廃止 (SHPの場合は後ろに識別できる名称を付加 例:ポイント→「P」、ライン→「L」等)
基準縮尺	1000
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索、表示で使用。
取得基準	道路河川管理システム上で動作している、法定外公共物管理図形背景とし、該当箇所をスナップして作成。公図区域等で法定外図形が公共座標で管理されていない場合は、地番図を背景にする。

空間情報

名称	内容	データ型
申請位置		エリア

属性情報

名称	内容	データ型	内部属性名	様式
受付年度		テキスト	uke_nen	西暦で4桁半角数字
受付番号		テキスト	uke_ban	0埋め8桁英数半角 銘々規則は別途指示有

その他

--

地物名称	街路灯台帳			
地物領域	市全域			
データ形式	BDS,SHP			
データ単位	東広島市全域			
ファイル名	街路灯			
基準縮尺	2500			
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索、表示で使用。			
取得基準	2500都市計画図上に、資料から相対的位置を移写してプロット。同一管理番号が出てきた場合は、発注者に問い合わせる。			
空間情報				
名称	内容	データ型		
街路灯位置		ポイント		
属性情報				
名称	内容	データ型	内部属性名	様式
管理番号		テキスト	key	全て半角。地区名が効力1桁+ハイフン+0埋め5桁の地区内連番。
その他				

地物名称	カブミラー台帳			
地物領域	市全域			
データ形式	BDS,SHP			
データ単位	東広島市全域			
ファイル名	カブミラー			
基準縮尺	2500			
用途・目的	申請位置を公共座標上でプロットし、データベースと連携して検索、表示で使用。			
取得基準	2500都市計画図上に、資料から相対的位置を移写してプロット。同一管理番号が出てきた場合は、発注者に問い合わせる。			
空間情報				
名称	内容	データ型		
街路灯位置		ポイント		
属性情報				
名称	内容	データ型	内部属性名	様式
管理番号		テキスト	key	全て半角。地区名カカナ1桁+ハイフン+0埋め4桁の地区内連番。
その他	カブミラーは道路安全施設の一部であり、実際システム登録時は、もう1項目安全施設種別を入れる必要がある。入力時はこれを別データとして安全施設を施設毎に分離して入れることとする。			

3. 属性データ

属性データは、各業務個別にフィールドに対する入力要項等の説明表を作成している。コード管理されているものは、属性表の後ろへ添えている。

◆ 各業務属性表

◆ コード管理されている項目のコード表